

タブレットを活用した授業実践

マルメロ学級生活単元学習

今回の授業はミニ校内研として実施したものです。

単元の目標は「いももちを作ってみんなに御馳走しよう」、学習課題は「重さやかさの単位を覚えよう」「材料がどれだけ必要か考えよう」で、数学の要素を含んでいるため、タブレットの活用が学習指導案にも位置付けられていました。



すでに実施している農作業学習のまとめとして行った「いももちづくり」を生徒自身がいももちを作り、周囲の人に食べてもらう学習活動をとおして、生活に必要な知識や技能を身に付けることをねらったものです。

本時は、単元の目標と本時の学習課題を、以前行った農作業学習

を想起させることから、生徒に理解させ、課題の解決のために学習に取り組ませました。

いももちづくりのレシピを、タブレットを使ってレシピサイトを液晶テレビに表示し、重さやかさの単位に注目させました。

その後、「怪盗ねこぴー」サイトを活用し、重さやかさの単位についてタブレットで学びました。小学生向けのサイトですが、ドリル等コンテンツが充実しており、中学校では特別支援学級の授業でも効果を発揮しています。



生徒自身がタブレットを操作することと、タブレット上での学習になるので、学習意欲が高まることやノートに書き写すことによる集中力の跡切れがないことから、特別支援学級の生徒の学習効果が期待されます。

子どもたちが自分から学習に取り組むという点では、タブレットや学習ドリルサイト等が有効です。

